

# おぐろ



2010

12

NO.674

● 広報



すこやか

小国っ子

シリーズ⑩

## ～ 落ち葉を使って、仲良く作品づくり ～

小国小学校放課後子ども教室の様子。

子どもたちは、自然の素材を使って、「額縁」づくりに挑戦。友達同士、協力し合いながら、落ち葉で人の顔や好きなものを表現。思い思いの作品を仕上げていました。

## 平成22年度全国農林水産祭「むらづくり部門」

田沢頭自治会 農林水産大臣賞受賞

# 田沢頭集落にみる地域活性化策



平成22年度全国農林水産祭の「むらづくり部門」で、田沢頭自治会（石垣正憲会長）が、農林水産大臣賞の栄誉に輝きました。人口減少、少子高齢化、農家の減少など、厳しい環境のなか、地域住民あがてのむらづくりが高く評価されたものです。今月は、田沢頭集落におけるむらづくりを紹介します。



田沢頭地区は、小国町の中心部から北に約2キロ離れた場所にある山間集落で、古くは農家を中心として構成されてきました。

昭和四十五年頃から、農家の高齢化が進み、非農家世帯が増加しました。このことから、「農家」を中心としていたむらづくり活動が停滞し、集落全体の活力の低下が懸念されてきました。

### 過疎のこころづらむ

平成二十二年度全国農林水産祭「むらづくり部門」の表彰式が、十一月十六日、宮城県仙台市で行われ、田沢頭自治会が農林水産大臣賞を受賞されました。

この表彰は、農林漁業及び農山漁村の健全な発展を目的として、昭和五十四年度から行われているものです。今回の受賞は、地域住民が協力して、環境保全や営農活動を展開し、地域の活性化に結び付けてきた田沢頭自治会の取り組みが高く評価されたものです。

取組事例 ②

遊休農地を活用、新たな収益へのきっかけ  
雑穀の栽培

雑穀の栽培は、田沢頭集落をはじめ、町内各地で行われています。

田沢頭集落では、雑穀の振興に取り組んでいる「おぐに五穀の会」と連携しながら遊休農地を活用し、約50アールの畑で雑穀を生産しています。

また、この畑の一部は、雑穀展示ほ場として、地域の子どもや女性などみんなで管理を行っています。



取組事例 ①

環境に配慮した農業の展開  
安全・安心な米づくり



おぐに木酢米は、より付加価値の高い米を生産しようと、昭和60年頃から田沢頭の一部の農家が始めたものです。平成4年からは、地元薬品会社の副産物である木炭や木酢液を活用。

田沢頭自治会では、化学肥料等を低減した環境にやさしい米づくりの拡大に取り組んできており、現在は、集落内における水稻作付面積の約8割を木酢米が占めています。

こうしたなか、昭和五十四年、青年層を中心として、むらづくり活動の見直しが行われ、「みんなでつくろう なごやかなむら」をテーマとしたむらづくりが、地区住民の総意をもとにスタートしました。翌年には、この活動を展開するため、集落全世帯で構成し、女性や若い世代、子どもまで地域住民全員が参加してむらづくりを展開する田沢頭自治会が発足しました。自治会では、昭和五十九年に、①健康管理の推進、②青少年育成問題、③環境整備、④山林耕地の有効活用と観光開発、などについて、基本的な構想を取りまとめました。構想を具体化するために、昭和六十一年に推進計画として「二十世紀に進むムラ」、平成五年には振興計画「田沢頭地区ふるさと計画」を策定しました。

田沢頭自治会では、この計画に基づき、「みんなでつくろう なごやかなむら」をテーマに、むらづくりに取り組んできました。しかし、近年の急激な社会環境の変化に

地域における新たな課題に対応するため、平成十九年度から始まった国の事業「農地・水・環境保全向上対策」（以下「農地・水」）を導入することとし、住民全員の意見を再確認することによって、新たな視点を加えた取り組みが始まりました。これまでの振興計画を見直すとともに、



課題解決に向けて話し合う

取組事例 ④

周辺環境の整備  
花いっぱい運動

地域の子ども、女性、お年寄り、みんなで集落を美しく飾ろうと、花いっぱい運動に取り組んでいます。農道沿いの花の植栽やプランターへの花植えを行い、住民や集落外からの来訪者を温かく出迎えてくれています。

また、田沢頭ため池周辺の環境美化にも取り組んでおり、つり橋や駐車場等も住民の手で整備。住民の憩いの場となっています。



取組事例 ③

女性の力を生かして新しいメニューを考案  
雑穀料理の提供



栽培した雑穀は、地域の女性が中心となり、創作料理やレシピ作りに取り組んでいます。試食会を実施しているほか、田沢頭地区を訪れた視察者へ昼食として提供し、そこで出された意見等を参考にメニューも拡大してきています。

最近では、イベントでの販売や、集落外への雑穀料理の出前講座なども展開し、地域の女性の力を生かした取り組みが進められています。

自治会役員が先導役となり、住民を対象にしたワークショップや聴き取り調査を行い、地域住民自らができることを話し合いました。すぐに実施できるもの、二、三年後に実施するもの、五年後を目指すものなどに区分し、農地の活用、環境保全、食、施設整備など、十のテーマ別に分類し、活動計画をつくりました。また、計画の基本方針として、自然環境や伝統・文化資源、人的資源などの地域資源を大切に活かしていくこととしました。

むらびくの推進体制

むらびくの活動計画の実施にあたって、これまでの自治会活動として進める事業と、農業者を中心として、平成十九年度に新たに立ち上げた組織「田沢頭グリーンネット」において展開する事業を整理し、取り組み体制を整えました。

田沢頭自治会は、総務部、産業部、教養部、生活厚生部により構成されています。そ

れぞれが役割分担をしており、産業部では、環境にやさしい農業や雑穀の栽培技術の向上を目的とした取り組みを行い、生活厚生部では、高齢者との交流や健康づくりなどを行っています。また、教養部は育成会や青年会などで組織され、清掃奉仕活動などに取り組んでいます。

田沢頭グリーンネットは、農地や施設の点検、雑穀を活用した交流活動を展開しています。集落内の十九人の農業者を中心に、自治会の各々が参加し、各種事業に取り組んでいます。雑穀を活用した事業に関しては、自治会の「教養部」「生活厚生部」の女性を中心に、加えて、町内で雑穀の振興に取り組んでいる「おぐに五穀の会」と連携するなど、集落内外との団体と一緒に進めた取り組みを進めています。

このほかにも、親子農園やふれあい農園など農作業を体験できる場を創出するなど、独自の取り組みを進めてきています。

## 田沢頭自治会

会長 石垣正憲さん



田沢頭自治会では、地域で話し合う機会をつくり、計画的に地域づくりを進めてきました。

平成21年2月に行われた農地・水・環境保全向上対策全国シンポジウムでの発表などを通して、地域づくりに取り組んでいる県内外の団体が視察に来るようになってきました。こうした視察を受け入れることで、新たな交流が生まれるとともに、情報の受発信にもつながってきています。

地域づくりには、地域の人々が、信頼し合い、助け合い、支えあえる環境をつくるとともに、子どもや女性、お年寄りまで、地域の人それぞれが活躍する場面を創出し、みんなの気持ちを高めていくことが大切だと思います。

## 取組事例 ⑤

### 集落外とのふれあい活動 親子農園・ふれあい農園



荒れた農地を活用したいという住民の提案をもとに、親子を対象として、町内のボランティアサークル・トライあんどと連携し、野菜を育てたり、収穫した野菜を使った料理教室を行う「親子農園」を展開しています。

また、県外からの転勤者を対象として農作業体験の場を提供する「ふれあい農園」の取り組みを進め、集落外との交流が活発化してきています。

### 集落外の人々との交流活動

親子農園やふれあい農園の取り組みでは、集落外の人々にも、親子で農作業や料理教室を体験する場を提供しており、集落外との交流も盛んになってきています。

今年からふれあい農園で農作業を体験している繁村卓さん、弘美さん（小国町）は、「八年前に、仕事の都合で、神奈川県から小国町に引っ越してきました。田沢頭の親子農園行事（みそづくり体験）に参加したことがきっかけで、ふれあい農園での農作業を体験することになりました。ふれあい農園では、年間を通して大豆やトマトなどの野菜づくりをしています。農作業は田沢頭のかたがたが、丁



繁村 卓さん、弘美さん  
知くん

寧に教えてくれました。体験を通して、農作業の大変さや、自然の厳しさを感じるとともに、集落の人々の温かさにもふれることができました。都会では、このような体験をする機会が少ないと思います。豊かな自然環境、そして教えてくれる地域のかたの温かい心は、小国町の大きな魅力だと思います」と話してくれました。

### 新たなステップへ

田沢頭集落の将来像「みんなで作ろう なごやかな暮らし」の実現に向けた地域住民の総参加によるむらづくりが、そこに暮らす人々の団結力を強めるとともに、集落外の団体との連携や、交流人口の増加に結びついてきています。

田沢頭集落では、こうした取り組みを持続的に進めることにより、集落の維持・保全や、地域の魅力情報の発信、さらには、地域資源を生かした新たな特産品の開発などに発展させ、地域の活性化を目指していくこととしています。

# 文化の日・新小国町誕生五十周年記念表彰式典

平成二十二年度文化の日表彰式並びに新小国町誕生五十周年記念表彰式が、十一月三日、総合センターで開催され、二十四個人、十七団体が表彰されました。各受賞者は、次のとおりです。

## 文化の日表彰

### 功勞表彰

・山口 英彦氏（荒沢）

昭和五十一年に小国町体育協会理事に就任し、平成七年から副会長、平成十三年から本年まで小国町体育



協会会長として、社会体育の振興を通じた地域づくりに尽力されました。

・加藤 美恵子氏（小国小坂町）

多年にわたり、小国町体育指導員として、社会体育の振興と町民の健康づくりに尽力されました。



### 感謝状

・加藤 美恵子氏（小国小坂町）

平成元年から二十年の永きにわたり、保護司として犯罪のない明るい町づくり尽力されました。

### 永年勤続表彰

議会議員（十五年以上）

・今 正徳氏（小国小坂町）

・金熊 太郎氏（小渡）

・伊藤 重廣氏（河原角）

・佐藤 祐一氏（足水中里）

駐在員（十年以上）

・宮阪 優氏（沼沢）

農業振興組合長（十年以上）

・後藤 勉氏（大滝）

・本間 正實氏（田沢頭）

・木村 洋悦氏（貝少）

民生委員児童委員

（十二年以上）

・故 岩崎 三郎氏（兵庫館）

・貝沼 清子氏（今市）

## 新小国町誕生五十周年記念表彰

現在の小国町が誕生して五十年の節目を迎えたことを記念し、永年にわたり、町の発展に大きく貢献されたかたが表彰されました。

「小国町を世界の人々の心のふるさとに」

### 渡部利之氏が記念講演

文化の日表彰式典に引き続き、新小国町誕生五十周年を記念して、町出身で河北町在住の洋画家渡部利之氏による講演が行われました。

講演で渡部氏は、「今はふるさとを離れて暮らしていますが、年月が経つにつれて、ふるさとの大切さを感じるようになってきました。

絵画は、見る人の心に安らぎを与える効果があり、争いごとや暴力というものに心が向いていかない。これは芸術文化の大きな役割だと思えます。

私は、道を題材にした作品を手掛けていますが、これは人間が自然と共生し、末永く生存していくことを願っているためです。自然と人間の共生は普遍的な価値だと思えます。

豊かな自然のなかで、文化性豊かな人々が輝いて生きて

# 秋の叙勲 受章おめでとうございます。

高橋睦美さん  
(緑町)  
瑞宝双光章を受章



元小国町助役の高橋睦美さん(緑町)が、瑞宝双光章を受章されました。

高橋さんは、昭和30年4月に小国町役場に奉職され、昭和49年度に企画開発課長、昭和58年度には総務課長を歴任されました。また、平成元年から平成11年までは、小国町助役として町の振興発展に貢献されました。

45年間、地方自治に携わった高橋さんは、「町民の皆さまにご指導いただきながら、たくさんの人と出会い、多様な人間関係を築くことができたことを幸せに思います。皆さんに感謝したい」と話してくれました。

三須一郎さん  
(小国小坂町)  
瑞宝单光章を受章



元小国町消防団分団長の三須一郎さん(小国小坂町)が、瑞宝单光章を受章されました。

三須さんは、昭和35年から平成16年までの永きにわたり、消防団員として活躍。特に、平成5年から平成16年までは分団長として火災予防意識の高揚と啓発を図り、地域ぐるみでの防災体制づくりに貢献されました。

消防団員としての活動を振り返り、「消防団長はじめ、団員の皆さんの温かい指導、そして家族の協力があったからこそ、活動を続けることができました。支えてくださった皆さんに感謝したい」と話してくれました。

## 地域医療功労者

- 山形大学副学長
- 山形大学医学部第二内科教授 河田 純男氏
- 山形大学医学部 第一内科主任教授 久保田 功氏
- 山形大学医学部 第三内科教授 加藤 丈夫氏
- 山形大学医学部 小児科教授 早坂 清氏
- 山形大学医学部 整形外科主任教授 荻野 利彦氏
- 山形大学医学部 産婦人科教授 倉智 博久氏
- 山形大学医学部 第一外科主任教授 木村 理氏

## 地方自治発展功労者

- 小国町統計調査員協議会
- 社会福祉功労者
- 本間 芳夫氏(小国小坂町)
- 小国山岳会
- 財団法人山形県交通安全協会
- 小国地区交通安全協会
- 小国地区交通安全運転管理者協議会
- 小国町交通安全母の会
- 小国町もしかクラブ連絡協議会
- 玉川福祉の里推進協議会
- 北部地区振興協議会

## 産業振興功労者

- 伊藤 晴男氏(小国小坂町)
- 高橋 三郎氏(伊佐領)
- 田沢頭自治会
- 山形おきたま和牛改良組合
- 小国支部
- 市野沢放牧場利用組合
- つる工芸の会
- 小玉川観光わらび園
- 朝日連峰山開き実行委員会
- 雪の学校実行委員会
- 教育文化振興功労者
- 小国町野球連盟
- 小国町ゲートボール協会
- 特別功労者
- 渡部 利之氏(河北町)

いる小国町になることを願っています」と話していました。



渡部氏は、絵画を通して小国町を世界に紹介された功績から、五十周年記念表彰を受賞されました。

10/30

## 新しい桜の名所に

### ～新小国町誕生50周年記念植樹祭～



願いを込めて、親子で植樹

新小国町誕生50周年記念植樹祭が、10月30日、下叶水地内の横川ダム湖畔で開催されました。町民や叶水地区にゆかりのあるかたなど、約150人が参加しました。

植えられたのは、町民の花「オオヤマザクラ」の苗木50本で、参加者からは、「子どもの成長と共に見守りたい、さくらの名所になってほしい」との声が聞かれました。

今回、植樹したオオヤマザクラは、最上川さくら回廊事業の一環として、(株)山形新聞社及び山形放送(株)から寄贈されたものです。

11/2~3

## 町民による芸術発表

### ～小国町文化祭～

小国町文化祭が、10月30日の古田歌舞伎公演を皮切りに、11月2日、3日、6日の4日間の日程で行われました。

町の芸術文化団体で構成する小国町文化協会（河内昭佐会長）が、町民が芸術文化に触れる機会を提供しようと、毎年開催しているものです。

町民体育館には、2日、3日の両日、町民が制作した約560点の作品が展示され、多くの町民が鑑賞に訪れました。また、期間中は、歌舞伎公演や芸能まつりなどの舞台発表や、町出身の落語家山遊亭金太郎氏の寄席も行われ、熱心な演技に会場からたくさんの拍手が送られていました。



出展作品を見入る来場者

11/14

## 災害時の「自助」、「共助」を考える

### ～自主防災組織推進セミナー～



セミナーにおける質疑応答の様子

町と置賜総合支庁が主催する「自主防災組織推進セミナー」が、11月14日、総合センターで開催されました。

置賜総合支庁塚田弘一総務課長が、県内における災害の発生状況や自主防災組織の設置率について解説したほか、NPO法人防災サポートおぢやの星野剛氏が、新潟県中越地震での自らの被災体験や、復興までの経過などを語りました。

セミナーには、消防団員や公民館連絡協議会関係者など約80人が出席。災害時に、自分や家族を守る「自助」、地域で助け合う「共助」を考える機会となりました。

11/7

## 温かい鍋を求めて1,600人が来場

～第8回おぐに鍋まつり～



大勢の来場者でにぎわった会場



多くの来場者に、どの店舗も大忙し

第8回おぐに鍋まつりが、11月7日、ふれあいの家を会場に行われました。

鍋まつりは、町のにぎわいづくりや、商業の活性化などを目的として、町商工会青年部と女性部の有志による実行委員会が主催したものです。

会場には、自慢の鍋を味わってもらおうと、町内から8団体、町外から5団体が出店。山菜や雑穀など、地場の農産物を使った自慢の創作鍋がずらりと並びました。

当日は、町出身の落語家山遊亭金太郎さんが、司会・進行にあたり、それぞれの店舗を、笑いを交えながら紹介し、会場を沸かせていました。

当日は、晴天に恵まれ、町内外からたくさんのかたが来場。来場者は約1,600人にのぼり、地元の食材にこだわった鍋を食べ比べていました。

審査員並びに来場者の投票により、人気ナンバーワンの鍋將軍には、ハートランドファームの「秋味！山菜鶏つみれ鍋」が、第2位の鍋の局には、雑穀ファンクラブの「雑穀宇宙鍋」が、第3位の鍋奉行には山遊亭金太郎後援会の「金太郎の寄席鍋」が選ばれました。

この人に聞く

第8回おぐに

鍋まつり実行委員会

実行委員長 藤井拓馬さん

(岩井沢)



第8回おぐに鍋まつり実行委員長の藤井拓馬さん(岩井沢)にお話を伺いました。

「鍋まつりは、地場産の素材を使った鍋を提供するイベントで、今回で八回目を迎えました。出店規模は、前回と同様でしたが、今回は天候にも恵まれ、来場者は一千六百人以上。たくさんの人でにぎわい、想定より早い時間で鍋が完売しました。」

出店団体や来場者は、町内だけでなく町外や県外からも訪れるようになってきました。イベントとして定着してきている感じがします。

様々な地場産の素材で作られるたくさんのお鍋。この鍋まつりというイベントを、新しい特産品を生み出すきっかけにしていきたいですし、さらに町内の機関と連携を強めながら、町の商店街の活性化にもつなげていきたいと考えています。」と話してくれました。

# お知らせします

小国町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、職員数、給与、勤務条件等の状況について、その概要を町民の皆さんにお知らせします。なお、町ホームページにも掲載しています。

## 職員手当の状況（一般職）

（平成22年4月1日現在）

扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配偶者13,000円／月</li> <li>● 扶養親族1人につき6,500円（配偶者がいない場合11,000円） （満16歳～22歳までの子につき5,000円加算）</li> </ul>									
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 借家月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、27,000円／月を限度に家賃に応じて支給。</li> </ul>									
通勤手当	通勤距離2.0km以上を対象に支給。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通機関等利用の場合 運賃等相当額 限度額 55,000円／月</li> <li>● 自動車等利用の場合 距離数に応じて支給 2,500円～30,900円／月</li> </ul>									
期末勤勉手当（支給割合）	基準日（6月1日、12月1日）に在職する職員に支給。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 6月期</td> <td>1.25月分</td> <td>0.7月分</td> </tr> <tr> <td>● 12月期</td> <td>1.5月分</td> <td>0.7月分</td> </tr> </tbody> </table> ※3級以上の職員に対し、職務の級に応じて5%～15%の加算措置有り		期末手当	勤勉手当	● 6月期	1.25月分	0.7月分	● 12月期	1.5月分	0.7月分
	期末手当	勤勉手当								
● 6月期	1.25月分	0.7月分								
● 12月期	1.5月分	0.7月分								



（各年度一般会計決算）

時間外勤務手当	区分	支給総額	1人当たり平均支給額
	20年度決算額	22,489千円	196千円
	21年度決算額	20,814千円	188千円

（平成22年4月1日現在）

退職手当		自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	23.50月	30.55月
	勤続25年	33.50月	41.34月
	勤続35年	47.50月	59.28月
	最高限度額	59.28月	59.28月

※定年前早期退職者に対して2%～20%の加算措置有り



## 特別職の報酬の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	月額	減額後	期末手当（支給割合）	
			6月期	12月期
給料	町長	810,000	688,500	1.45月分
	副町長	630,000	567,000	1.6月分
	教育長	560,000	532,000	合計 3.05月分
報酬	議長	310,000	—	6月期 1.45月分
	副議長	250,000	—	12月期 1.6月分
	議員	235,000	—	合計 3.05月分

※平成22年度において、町長15%、副町長10%、教育長5%をそれぞれ減額しています。特別職の期末手当は、減額後の給料月額に35%加算したものに支給割合を乗じます。

## 勤務時間（標準的なもの）

（平成22年4月1日現在）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り				週休日
	始業時間	終業時間	休憩時間	休息時間	
40時間	8:30	17:15	12:15～13:00	12:00～12:15 17:00～17:15	土曜日・日曜日

## 休暇制度の概要

有給 年次有給休暇・病気休暇・特別休暇（結婚、出産、忌引き、夏期休暇、社会奉仕活動など）  
無給 介護休暇・組合休暇

問合せ先 総務企画課行政管理室へ

# 町職員の給与・人事行政の内容を

## 採用の状況

(平成22年4月1日)

	男	女	合計
一般行政職	2人	0人	2人
薬剤師	0人	0人	0人
看護師	0人	2人	2人
医師	1人	0人	1人
合計	3人	2人	5人

## 退職の状況

(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

	男	女	合計
定年退職	0人	2人	2人
勸奨退職	0人	0人	0人
普通退職	2人	0人	2人
合計	2人	2人	4人

## 職員数の状況

(各年度4月1日現在)

種別	一般行政職	税務職	医師職	医療技術職	看護・保健職	福祉職 (保育・介護)	企業職 (水道)	技能労務職	その他教育職	合計
21年度	94人	11人	3人	11人	43人	9人	2人	8人	1人	182人
22年度	96人	9人	3人	11人	45人	8人	2人	7人	1人	182人
増減	2人	△2人	0人	0人	2人	△1人	0人	△1人	0人	±0人

## 一般行政職の級別職員数の状況

(平成22年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
標準的な職務	主事・主事補	主任	係長・主査	室長・補佐	課長・主幹	課長
職員数	16人	27人	27人	16人	5人	5人
構成比	16.70%	28.10%	28.10%	16.70%	5.20%	5.20%

## 人件費の状況

(平成21年度一般会計決算)

住民基本台帳人口 (平成22年3月末)	歳出総額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	H20年度人件費率
9,135人	5,864,103千円	872,966千円	14.9%	16.1%

※人件費には、特別職給与・共済組合負担金などを含まれます。

## 職員給与費の状況

(各年度一般会計当初予算)

区分	職員数(A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
21年度	111人	401,384千円	57,589千円	162,080千円	621,053千円	5,595千円
22年度	111人	410,367千円	67,179千円	152,702千円	630,248千円	5,678千円

※特別職給与、企業会計分は除きます。また職員手当には退職手当を含みません。

## 平均給料月額・平均年齢

(各年度4月1日現在)

区分	21年度			22年度		
	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額	平均年齢	平均経験年数	平均給料月額
一般行政職	41.4歳	20.3年	298,200円	42.4歳	21.3年	303,300円
技能労務職	50.8歳	32.7年	289,100円	50.8歳	30.1年	289,300円

## 初任給の状況

(平成22年4月1日現在)

	小国町	国
一般行政職	大学卒	172,200円
	高校卒	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円

※小国町では大学卒の初任給は、初級試験採用の適用となります。

## ラスパイレス指数の水準

(各年度4月1日現在)

年度	19年度	20年度	21年度
小国町	90.4	90.5	90.7
県内町村平均	94.4	95.3	95.1
全国町村平均	93.9	94.2	94.6

※ラスパイレス指数は国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数です。

# お知らせコーナー

## 募集

### 町営住宅入居者募集

- 小坂町勤労者住宅 2K 2戸
  - ▽ 家賃 三万三千元
  - 岩井沢勤労者住宅 3DK 3戸
  - ▽ 家賃 四万二千元
  - 対象 町内の事業所にお勤めのかた
  - 敷金 家賃の3カ月分
  - 募集期限 12月9日(木)
  - 入居時期 1月初旬以降
  - 問合せ 地域整備課建設管理室へ
- ### 県営住宅入居者募集
- 募集住宅 3DK 4戸
  - ▽ 家賃 所得により決定
  - ▽ 対象 同居親族があるかた (所得制限あり)
  - 敷金 家賃の3カ月分
  - 募集期間 12月6日(月)～10日(金)
  - 入居時期 1月下旬
  - 問合せ 住まい情報センター(☎0238-24-2332)へ

### 町文化振興基金助成事業 対象事業を追加募集します

- 対象事業 平成23年3月までに予定されている①音楽・演劇などの公演②団体・サークル活動発表③文化財保護活動④青少年健全育成活動
- 内容 助成は、総額20万円以内で、団体または個人に行います。
- 申請期限 12月15日(水)
- 申請・問合せ 教育委員会事務局へ

## ご案内

### 高齢者・障がい者 虐待未然防止研修会

- 日時 12月11日(土) 午後1時～午後3時30分
- 場所 総合センター
- 内容 高齢者・障がい者の虐待とその対応についての講演などを行います。
- 問合せ 健康福祉課へ

### 無料債務整理相談会

多重債務のお悩み解消に、お気軽にご相談ください。

- 日時 12月18日(土) 午後1時～午後4時
- 場所 東北労働金庫小国支店

- 申込期限 12月16日(木)
- 申込・問合せ 西置賜地区労働者福祉協議会事務局(労働金庫小国支店 ☎62-4456)へ

### 多重債務無料相談会

事前にご予約のうえ、お気軽にご相談ください。

- 日時 12月16日(木)
- 場所 山形財務事務所 (山形市緑町2-15-3)
- 申込期限 12月9日(木)
- 申込・問合せ 東北財務局金融監督第三課(☎022-266-5703)へ

### 世界エイズキャンペーン エイズ相談検査

- 日時 12月6日(月) ①午前9時～午前11時30分 ②午後1時～午後8時
- 場所 置賜保健所
- 内容 面接相談及び血液検査(匿名で受け付けます)
- 費用 無料
- 問合せ 置賜保健所地域保健予防課感染症予防担当(☎)

## 催し

### つる細工講習会

- 期日 1月19日(水)～21日(金)
- 場所 飯豊梅花皮荘
- 内容 アケビつるなどを使った作品づくり(定員50人)
- 申込期限 12月24日(金)
- 参加費 町内者一万八千円 町外者二万二千元 ※宿泊費・食事代を含みます。日帰りは、別料金となります。
- その他 役場と小国駅から送迎バスを運行します。
- 申込・問合せ 小国町観光協会(☎62-2416)へ

### 新規高卒者就職面談会

- 生徒と企業の個別面談を実施します。
- 日時 12月8日(水)午後1時30分～午後3時30分
- 場所 グランドホクヨウ米沢
- 申込・問合せ ハローワーク長井(☎84-8609)へ

0238-22-3002)へ

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇つばさものがたり 栗井 脩介
- ◇神様のカルテ2 夏川 草介
- ◇ストーリー・セラシー 有川 浩
- ◇竜の涙 柴田よしき
- ◇中学時代にしておく50のこと 中谷 彰宏
- ◇9割受かる勉強法 松原 一樹
- ◇蛙の子はカエらない 岬 修平
- ◇食べる薬草事典 村上光太郎
- ◇獣の奏者 外伝 上橋菜穂子
- ◇敗走記 水木しげる

●休館日…毎週月曜日、祝日



☆あそびの広場☆

■日程 1月11日、18日「子育て講座・豆腐をつくる」、25日、2月1日

■時間

午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

▼1月6日、20日、2月3日 総合センター

▼1月13日、27日

おぐに保育園

■時間

午前10時～11時30分

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こどもランチ☆

■日時 1月15日(土)

午前9時30分～正午

■場所 健康管理センター

■内容 餃子づくり、親子で体操

■申込期限 1月13日(木)

■問合せ先

子育て支援センターへ

求 人 情 報

左の表は、11月26日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へお問い合わせください。

今月の納税 2010.12

12月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●12月27日(月) 水道料、固定資産税(4期)、国保税(6期)、後期高齢者保険料(6期)、介護保険料(9期)

●1月4日(火) 下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合せ先 税務課税政管理室へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)アイコンワールド新潟営業所	(派) CAD設計業務	1人	8:30～17:15
(株) キュアドリーム	介護職員	2人	6:00～15:00 10:00～19:00 19:00～7:00
小国町森林組合	林業業務	1人	7:30～17:00
長谷川工業(株)	マシン・オペレーター	1人	8:30～17:00 16:30～1:00 0:30～9:00
(株) ケイプロダクツ	自動車整備、ショッピングサイト管理、自動車販売	4人	9:00～18:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士	2人	8:00～17:00
アクサ生命保険(株) 長井営業所	商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
(有) 蔵王ストア	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
(有) 白い森よこね物産品直売所	販売・接客	1人	9:00～18:00
安部工業(株)	型枠大工、一般作業員	2人	8:00～17:00
デイスポ(株)	(臨) 作業員(1週間程度) 米沢・小国	1人	8:00～17:00
(株) コメリ 新潟地区本部	販売員(コメリハードアンドグリーン小国店) アルバイト	2人	17:00～20:00

冬期間は、横川ダム「きてくろ館」を閉館します。

■閉館期間 平成22年12月1日(水)～平成23年4月7日(木)

■問合せ先 横川ダム管理支所 (☎65-2363) へ

## ■ 保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月日	内容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場所
1月14日(金)	3歳児健診	12:30～13:00	H19年5月、6月、7月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
1月28日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H22年1月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年9月	

～小国町が保証料を補給しています～

### ◆◆◆ ご利用ください ◆◆◆ 奨学ローンと生活応援ローン

#### 1. ふるさと奨学ローン

- 融資金額 最高1,000万円
- 融資金利 年2.20～2.85% (固定金利・保証料別です。県内就職した場合、以降の元金200万円を限度に年1.0%の利子補給があります)  
在学期間中は、特別金利と最小限の返済額での「送りサポート返済」の利用もできます。(特約期間最長6年、特別金利年1.30%)

- 保証料 年0.5%
- 融資期間 最長10年(特約期間を含む)

#### 2. 生活応援ローン

会社や商店に1年以上お勤めの方で労働組合や職場に融資制度のないかたのために、低利で融資する制度です。

- 融資金額 100万円以内
- 融資金利 年2.0% (固定金利・保証料別)
- 保証料 年0.3%
- 融資期間 最長7年

- 申込先 東北労働金庫小国支店
- 問合先 東北労働金庫小国支店 (☎62-4456)  
または産業振興課商工観光室へ

## 相談

### 年金相談

- 日時 12月15日(水) 10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構  
米沢事務所職員
- 問合先 町民課住民窓口担当へ

### 消費者相談

- 日時 12月25日(土) 10:00～15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 内容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合先 町民課町民生活担当へ

### 置賜広域行政事務組合

## 指名競争入札参加登録 定期申請について

平成23・24年度に行う①建設工事(定期申請)、②設計・測量コンサルタント(定期申請)及び、平成23・24・25年度に行う③物品納入及び役務提供(定期申請)の登録申請を受け付けます。※定期申請となりますので、登録を希望する全てのかたに申請が必要となります。

#### ■受付期間

- ①、②：平成23年2月1日(火)～2月18日(金)
- ③：平成23年1月17日(月)～2月4日(金)

申請に必要な書類等の詳細は、本組合ホームページ(<http://www.okikou.or.jp/>)をご覧ください。

- 申請・問合先 〒992-0012 米沢市金池3丁目1番55号 置賜広域行政事務組合 総務課庶務係 (☎0238-23-3246) へ

## 公立置賜総合病院からお知らせ

平成23年1月1日以降、出産のため入院をしたかたを対象とした分べん介助料を改定いたします。

改定額 (単位：円)

出産時間帯の区分		改正前	改正後
単児分べん	診療時間内	170,000	200,000
	診療時間外	180,000	222,000
	土日・深夜	190,000	236,000
多児分べん	診療時間内	※100,000	※115,000
	診療時間外	※105,000	※126,000
	土日・深夜	※110,000	※133,000

※2児以上1児増すごとの加算金額

- 問合先 公立置賜総合病院医事情報課 (☎0238-46-5000) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

## 年末年始、次のことにご協力をお願いします。

内容 期日	水道故障	町立病院	ごみ収集	小国リレー センター	●総合センター ●町民体育館 ●ふれあいの家 (毎週月曜休館)	温水プール (毎週月曜休館)
29日(水)	通常どおり	休診	通常どおり	通常どおり	休み	通常どおり
30日(木)	清水設備 ☎67-2127	休診	休み	休み	休み	通常どおり
31日(金)	小関住宅設備 ☎62-5347	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
1月1日(土)	パイプライン ☎62-2461	休診	休み	休み	休み	休み
2日(日)	設備佐藤 ☎62-5606	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
3日(月)	津島屋電気店 ☎62-2404	休診	休み	休み	休み	10:00～16:30 (最終受付16:00)
問合せ先	地域整備課 上下水道室	町立病院	町民課 町民生活担当	小国リレー センター ☎63-2251	総合センター 町民体育館	ゆ～ゆ ☎62-4248

## 平成23年度の保育園・へき地保育所の入所申込みを受け付けます

- 受付期間 12月14日(火)～16日(木)まで
- 受付時間 午前8時30分～午後6時30分まで
- 受付場所 健康管理センター
- 対象者

◎おぐに保育園、白百合保育園、すみれ保育園、おきにわ保育園は、  
家庭で保育することができない乳幼児

◎あさひ保育園、叶水保育園は、家庭で保育することができない概ね2歳以上の幼児



### ■申込方法

申込書に必要事項を記入のうえ、受付期間内に提出してください。申込書は、健康管理センター及び各保育園に準備してあります。

### ■その他

◎定員を超えた場合は、希望する施設に入所できない場合があります。

◎入所期間は、小学校に入学するまでの範囲内で希望することができます。

### 【保育所一覧の閲覧】

保育所の情報として、健康管理センターに「保育所一覧」を備えています。施設の状況、保育内容の詳細、町の保育事業などが記載されていますので、ご活用ください。なお、「保育所一覧」は、町ホームページにも掲載しています。

- 申込・問合せ先 健康福祉課へ

# 戸籍のまど

誕生おめでとございます。

小国町本間慶人 (辰直子 徳子)  
折戸齋藤那智 (幸則 登志江)

結婚おめでとございます。

(舟渡塚原亮 北齋藤由佳)

おぐやみ申し上げます。

伊佐領新野新藏 (84)  
北伊藤春次 (90)  
幸町石山はるゑ (94)  
小渡玉垣すみ (97)  
北高橋ミツ (83)  
幸町伊藤喜知 (76)  
叶水高橋周作 (84)  
長沢益田春子 (81)  
岩井沢佐藤ます (99)  
舟渡塚原公太郎 (81)  
岩井沢齋藤義男 (74)  
栄町小田佳春 (51)  
網木箱口井上さた (101)  
増岡小関義雄 (88)  
白子沢二馬みや (94)

## 人口のうごき

人口 男 … 4,421人(-1)  
女 … 4,678人(-9)  
計 … 9,099人(-10)  
世帯数 3,249世帯(-3)

平成22年10月31日現在

# 伝えよう！ 広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ⑧

山菜、きのこ漬け



### 材料 (5~6人分)

山菜……………200g (わらび、こしあぶら、こごみなど)	にんじん……………少々
きのこ……………200g (かのこ、なめこ、おりめきなど)	なんばん……………少々
	しょうが……………少々
	めんつゆ……………100cc
	酒……………大さじ1

※彩りに菊を加えても良い。

### 作り方

- ① 山菜、きのこは食べやすい大きさ(3~4cm程度)に切る。  
※塩蔵していた山菜、きのこは、事前に塩抜きをする。
- ② ①と同じ大きさに、にんじんを切る。
- ③ めんつゆ、酒、なんばん、しょうがをあわせ、その中に①、②を漬け込む。
- ④ 一晩くらい漬ける。



### 伝承者：本木美千子さん(小国小坂町)

小国は自然環境がすばらしく、山の恵もいっぱいです。なかでも、山菜、きのこは小国を代表する食材だと思います。昔から、山菜もきのこも、採った後に乾燥させたり、塩漬けにするなど、保存する技術が受け継がれてきました。

こうした食文化を後世に伝えていきたいと思っています。

## 編集後記

朝晩の冷え込みが厳しくなり、冬が近づいてきているのを感じます。11月のある日、多くの広葉樹が葉を落としていたなかで、横川ダム湖畔にある大きなイチョウの木は、日の光をうけて金色に輝いていました。厳しい冬を乗り越え、来年またその存在感を示してほしいと思いました。

(加藤)

